



座間小キャラクター
ざまたん

校長のつぼやき^{ぶ?}

座間市立座間小学校
校長 石田 正行

日頃、気づいたことなどをちょっとずつ、つがやいていきたいと思います。時にはぼやきになってしまうかもしれませんが、なのでつぼやき……。

【大人はよける、子どもはまっすぐ】

みずたまりの話です。校庭だけでなく、学校の敷地内は雨が降ると水たまりだらけです。じりや砂を入れていくら直しても、すぐに元のへこみになってしまいます。なので、雨が降ると水たまりだらけ。私たちは、なるべくよけて遠回りしますが、多くの子どもはまっすぐ突き進みます。長靴の性能を試しているのでしょうか。あえて水たまりに突き進みます。

子どもの頃、新しい長靴を買ってもらおうと、雨が降るのを待ち遠しく思いました。今では考えられません。その新しい長靴で水たまりに突っ込みバシャバシャと遊び、長靴の中まで水浸しにしては母親に怒られていました。そう言えば、傘もひっくり返して雨を溜めていました。

いろいろ思い出してきました。やはり子どもはそういうものなんですね。

【今どきの調査】



4月23日は、全国学力学習状況調査が行われました。全国の小学6年生と中学3年生を対象に、小学生は国語と算数、中学生は国語・数学・英語の学力を調査するものです。翌24日は、質問紙調査というアンケート調査です。

質問紙調査は、タブレットを使って回答します。集計作業はこの方が断然楽だと思います。が、回線のトラブルなどの心配があり、専門業者の方にサポートしていただきながら実施しました。

来年度の調査は、国語も算数もタブレットに解答を入力するとのことです。タブレット端末を活用することは、今の子どもには必須です。とても便利です。ですが、文章を「書く」内容の回答も「入力」することになると、「手で書く」ということがますます減っていくことが少し心配です。



こちらは2年生の様子。普段の授業です。タブレットは辞書でもありノートでもあり、自分の考えの伝達ツールでもあります。低学年から使い方に親しんでいます。1年生はもう少し先ですが、あっという間に使い方を覚えてしまいます。

私がパソコンに初めて触れたのは大学生の時。1台100万円といわれたコンピューターでしたが、できることは電卓並み。巨大なモニターと、これまた巨大な記録媒体が印象に残っています。

例えば10年後、この椅子に座っている子どもたちの目の前には、どんな機器が置かれているのでしょうか。

【スタンバイOK】

この写真では分かりづらいですが、こいのぼりが釣り下がっています。1年生の教室です。もうすぐろうか泳ぎ始めます。1年生が一生懸命準備をしています。

